

学校だより

ジャンボ、八幡っ子!

令和3年1月29日
市川市立八幡小学校
第11号 校長 吉野和雅

本校の展望台をご覧いただいたでしょうか。新しい年を迎え、現在は、見事な「虹」が展示されています。この「虹」は、6年生を中心に全校で折った折鶴を使ってPTAの皆さんが作ってくださったものです。3000個以上の折り鶴が、展望室から毎朝、登校してくる子どもたちを元気に迎えています。

コロナ禍によって生活が一変し、自由にならない日々が続いています。私たちは今、まさに出口のわからないトンネルの中を走り続けているのかもしれませんが、しかしながら「長いトンネルはいつか抜ける」との言葉の通り、この状況が好転する日は必ずやってきます。逆にトンネルを抜けた先にはどんな世界が待っているのでしょうか。折鶴で織りなされた「虹」は、子どもたちの明るい未来を見守っているようです。このトンネルを抜けるその日まで、知恵を出し合い、元気を出して、前を向いて進んでいきたいと思ひます。



【2月行事予定】

日	曜	行事等	日	曜	行事等
1	月		15	月	
2	火	■節分	16	火	
3	水		17	水	クラブ活動
4	木	委員会（中止）	18	木	
5	金		19	金	書道教室：矢野華風先生（6年生）
6	土		20	土	
7	日		21	日	
8	月		22	月	
9	火	校内授業研究 下校：1～2年生：14：10 3～6年生：14：55	23	火	天皇誕生日
10	水	定例研（中止） 通常授業 安全点検日	24	水	ことばの教室後期修了式
11	木	建国記念日	25	木	
12	金	新入生保護者説明会	26	金	
13	土		27	土	
14	日		28	日	



■ 校長室から、

毎日、校内を巡回していて、各学年の下駄箱の外履きが常にきちんと揃えてあることにとても感心しています。当たり前のことですが、みんなが当たり前に続けていくことは難しいものです。私自身「下駄箱は、心をうつす鏡」であると思ひます。

「はきものをそろえる」

はきものをそろえると心もそろろう	心がそろうと、はきものもそろろう
ぬぐときにそろえておくと	はくときにころがみだれない
だれかがみだしておいたら	だまってそろえておいてあげよう

そうすればきっと、世界中の人の心もそろおうでしょう

この詩は、長野県の円福寺の和尚、藤本幸邦さんが作った詩です。「他に向かつて理屈を言う前に、まず自分の足元を見て自分のことをよく反省しなければいけない」との戒めの言葉を意味しているそうです。

日々の何気ない生活の中には、とても大切なことがたくさんあることを改めて考えさせられることがあります。これからも、学校生活の中で「当たり前のことを当たり前に続けていくこと」を大切にしていきたいと思ひます。



■ カメのオアシスに氷が張りました。

とても気温の低い日々が続いています。こうした中、毎朝、「カメのオアシス」（校門横の池）には、元気な子どもたちの声が響いています。この寒さの中、半袖、半ズボンの子どもの姿も…。この寒さ上、池に氷が張ることも多くなりました。中には、厚さ1センチほどのガラスのような立派な氷を目にすることもあります。また、氷になる途中の結晶も目にする機会もあります。子どもたちは、池の氷に大喜びです。「学級の皆に見せるんだ」と手にした氷を大事に教室に持ち帰っています。

また、池の水が澄んだ日には、池の底に冬眠しているカメ（以前、校長室で飼育していたアカミミガメ）の姿見つけて、再び大喜びです。「カメのオアシスは、子どもたちにたくさんのことを教えてくれます。」



■ 豆まきが2月2日に？

鬼は外、福は内のかけ声で豆まきをする節分は、ここしばらく2月3日が続いていましたが、令和3年（2021年）は、明治30年（1897年）以来124年ぶりに2月2日になります。この理由は、地球が太陽を1周する時間が365日ちょうどでないためのずれで、令和4年～6年は2月3日に戻りますが、令和7年には再び2月2日になるそうです。

節分は、平安時代から続く伝統行事です。本年は、日付を間違わないようご注意ください。

